

# 戦没学生らを追悼

小樽商大 慰霊祭に市民も参列



慰霊碑に刻まれた名前を見つめる参列者

碑に献花して手を合わせた。穴沢真学長は「平和を維持することが私たちの使命。これからも世界の平和に貢献する人材の育成に注力する」とあいさつした。

4年ぶりに校歌斉唱も行い、合唱サークル「グリーン&カンタール」の学生7人がアカペラで歌った。代表の高木冬聖さん(20)は「自分たちも戦火を後世に語り継いでいかなければと改めて感じた」と話した。戦死した男子学生と交流があった市内の辺見武利さん(89)は「戦争を二度としてはいけない」と誓っていた。

(久慈陽太郎)

【小樽】小樽商科大は15日、同大構内の緑丘戦没者記念塔前で慰霊祭を行い、「学徒出陣」など戦争で亡くなった学生や卒業生、教職員ら347人を追悼した。今年には遺族や同窓会「緑丘会」の会員、学生、教職員ら65人が参列した。

新型コロナウイルスの感染症法上の位置づけが5類に移行し、4年ぶりに一般市民も参列可能となった。慰霊祭は1969年の記念塔建立以来、毎年行っている。正午のサイレンに合わせて黙とうをささげ、戦没者の名前が刻まれた慰霊